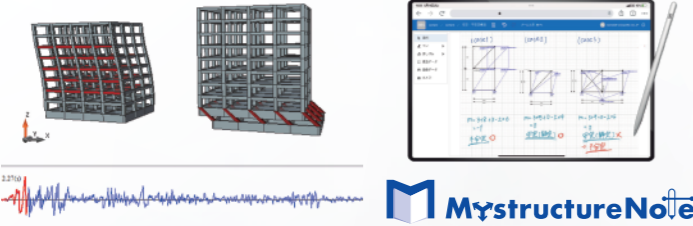


社会を支える構造計画研究所の技術

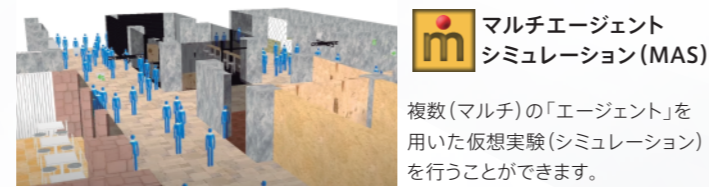
解析プログラム

構造物が地震動・津波・地盤変位や水平土圧・飛来物激突など様々な災害時負荷を受けたときの挙動と性能を、静的・動的な構造解析を駆使して検証しています。タブレット上で絵を描くように構造解析ができるデジタルノートを開発中です。



避難シミュレーション

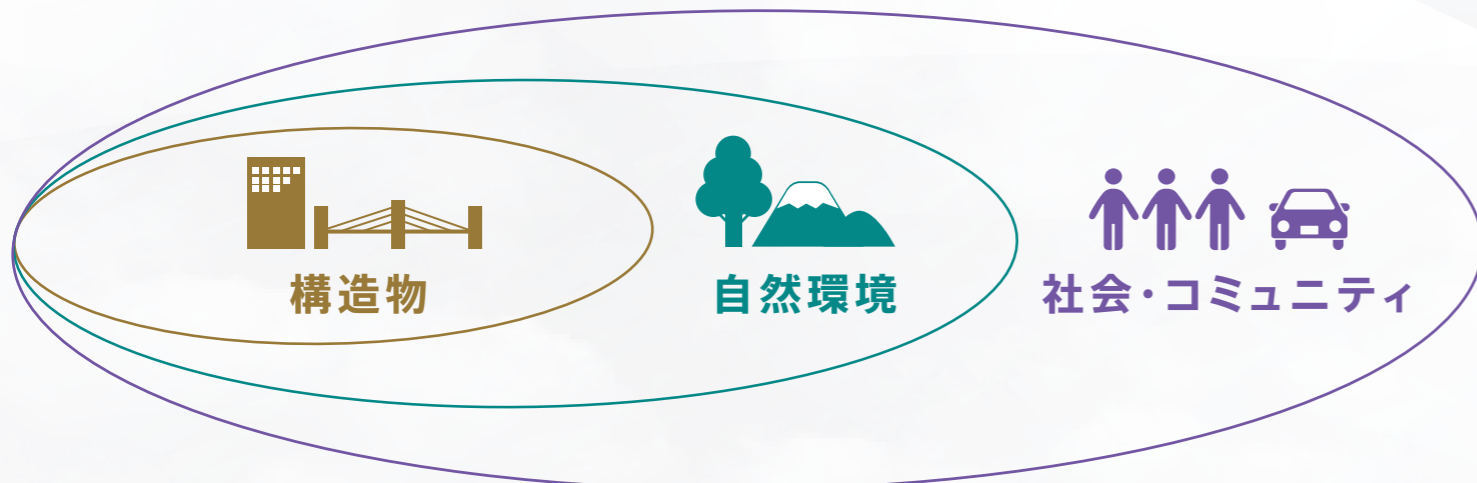
災害と構造物、人々の避難行動を同時に考慮したうえで、施策の効果を評価をすることができます。また、個人ごとの行動をモデル化できるので、避難者の行動特性を考慮した状況のもとで、避難プロセスの改善施策を検討できます。



m マルチエージェントシミュレーション (MAS)

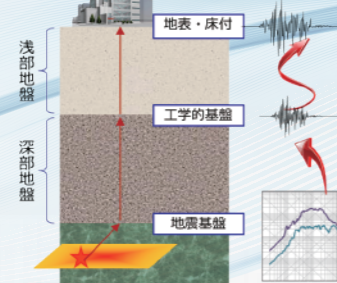
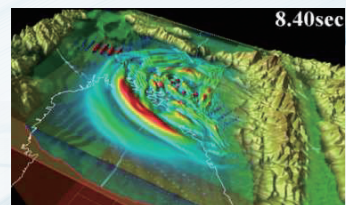
複数(マルチ)の「エージェント」を用いた仮想実験(シミュレーション)を行うことができます。

木造化 × デジタル



地震動解析

着目地点の地震環境や想定シナリオから目標スペクトルを設定する設計用地震動作成や、震源断層から伝搬経路、表層地盤までモデル化する地盤解析などを行います。



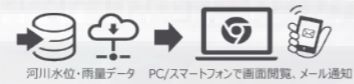
周辺環境評価

風況解析、温熱環境、電波・電磁界解析などの構築物を取り巻く様々な物理環境を評価します。



リアルタイム洪水予測システム「RiverCast」

RiverCastは、東京大学と共同開発した最先端の数理工学技術を活用し、河川水位をリアルタイムに予測するクラウドシステムです。豪雨時に「いつ、どこで、どのくらい危険が迫っているのか、リードタイムを見える化することで合理的な意思決定を早期に実現します。全国30地点以上で運用しており、13自治体以上のご利用実績のほか、100件以上の公共工事入札提案に採用されています。



河川水位・雨量データ PC/スマートフォンで画面閲覧、メール通知



デジタル技術を活用し 建設業界の業務プロセス改革や 新たな価値創出を支援

私たちは建設業への深い知見、デジタル技術活用の経験を活かし、「人手不足」「技術の継承」などの課題を解決します。



